

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134005	事務事業名	図書館管理運営事業	担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者(課長)	広崎 博之	評価責任者(部長)	松村 悟
				事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)図書館の資料・情報及びサービスの充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○利用者の多様なニーズに対応した資料・情報の充実を図ります。 ○歴史や文化等に関する地域資料の収集保存や情報提供に努めます。 ○誰もが利用しやすい読書環境の提供に向け、インターネットによる蔵書予約システムや移動図書館等のサービスを提供します。			25年度市民評価の満足度	
	【生涯学習の推進】	41.00%				

事業の目的(対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民、市内通勤・通学者	意図(どういう状態にしたい): 読書活動・生涯学習活動を推進・支援することで、市民の文化的側面の向上を図るとともに、利用者の満足度が向上し、利用者増加が図られる。	事業の内容(手段)	市内5館の円滑な運営 お話し会など各種行事の運営 関係部局とのコラボ企画の実施
--------------	-----------------------------	--	-----------	---

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	○開館時間 中央 9:30~18:00(火~土) 9:30~17:00(土) 新南陽 9:30~18:30(火~金) 9:30~17:30(土・日) 12月28日より移転準備のため閉館 福川 9:30~17:30(火~土) 9:30~16:00(日) 熊毛 9:30~18:00(火~金) 9:30~17:30(土・日) 鹿野 9:30~18:00(火~金) 9:30~17:00(土・日) ○休館日 毎週日曜日、祝日、月末整理日、年末年始、曝書期間 ○貸出冊数 1人15冊まで ○貸出期間 2週間				事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)	
	直接事業費	千円	63,750	64,687		63,611	67,367	63,611					
事業目標	目標名	個人貸出利用者数	計算式	単位	人	(予算額) うち一財	千円	63,716	64,367	63,202	67,041	63,202	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	直接事業費	千円	61,439	61,478	対27年度増減理由 対28年度増減理由		
	目標値	215,000	215,000	205,000	215,000	215,000	(決算額) うち一財	千円	61,143	61,243	施設等修繕料増加:中央図書館 非常用蓄電池取替、熊毛図書館 バルク調整器・ガスメーター取替		
	実績値	205,481	207,723	193,950			正職員人件費	千円	50,543	56,942	8.10		
	達成度(%)	95.6%	96.6%	94.6%			人工数	人	6.90	7.70			
							支出コスト	千円	決) 111,982	決見) 118,420			

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数	コスト	委託等の可否		
	①	図書館普及啓発事業 (経常的事務事業)	周南市民、市内通勤・通学者	図書館の環境を整備する。(ハード面・ソフト面)	図書館に対する関心を高めるとともに、利用しやすい読書環境づくりに努める。	施設管理、予算管理 館内整理 各種行事運営	正職員 2.75 臨時等 2.05	直接事業費 61,478	委託 否	臨時嘱託 否	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 中央図書館施設の老朽化、耐震補強が必要(is値0.38) 事務量の増大				B	改善案	計画的な施設修繕		
	②	カウンター業務 (経常的事務事業)	周南市民、市内通勤・通学者	利用者に対して適切・正確なサービスを提供する。	利用者の満足度を向上させる。	カウンター業務(貸出・返却・レファレンス・予約管理) 配架、書架整理	3.5 10.8		否	可	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 多様化、高度化する市民のニーズに対して、的確に対応できる人材が必要不可欠である。				B	改善案	長期的展望に立った人材育成		

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③ 図書館ブックリサイクル事業 (経常的事務事業)	周南市民、市内通勤・通学者					不用図書 の提供	読書への関心を深めるとともに、資源の有効活用を図る。	除籍処理、整理・提供	正職員	臨時等	直接事業費
			0.6	0.85		否				可		
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 準備に対して、多大なる労力が必要となる。					細事業評価						
A	改善案											
④ (経常的事務事業)	閉架書庫の整理		周南市民、市内通勤・通学者	限りあるスペースの中で、効率的に資料を管理する。	適切に資料を管理する。	配架・書架整理 除籍処理	0.85	0.95		否	可	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 資料を適切に利用に資する必要があるが、資料は増加する半面、保管スペースには限界がある。						細事業評価					
B	改善案		不用図書を的確に見極めるとともに、保管形態を考慮する必要がある									

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	自家用車利用の増加による駐車場不足システム(インターネット)の利用により、利用者の利便性は格段に向上し、インターネット利用による予約が増えてきているなか、その対応は人的作業となるため、事務量が増加している。	前年度までの指摘事項	館外貸出冊数の把握による図書館運営業務の充実を確保すべき	指摘事項に対する改善状況	さまざまな利用・サービス形態を鑑みながら、より充実した図書館運営に努める。
	細事業の課題・問題点	的確な人的サービスの提供、またそれに対応できる人材の育成・職員配置		事業全体の課題・問題点	事務量の増大 人材が手薄であり、特に司書資格を有する正職員が少ない。 継続的、かつ特徴的な運営が図ることができる人事体制が必要である。 利用者の利便向上、事務処理の効率化の観点からICタグシステムの早い段階での導入検討	

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた	評価理由	改善案
		B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討		

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	新徳山駅ビルの民間活力導入図書館は、既存5館のサービスに革新をもたらすチャンスである。図書館の基本的運営方針を明示し、現状のサービス水準と目標とすべきサービス水準を明確にするよう取り組まれたい。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200104
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
中央図書館の耐震改修工事に向けた実施設計経費計上→図書館耐震化事業費へ必要最小限の予算で、よりよい成果を得られるよう工夫する。 ICタグシステムの導入については、費用対効果の観点から早期導入は見送ることとし、今後の動向を注視していく。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134014	事務事業名	図書館資料購入事業	担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	松村 悟
				事業の分類	(ソフト事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)図書館の資料・情報及びサービスの充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○利用者の多様なニーズに対応した資料・情報の充実を図ります。 ○歴史や文化等に関する地域資料の収集保存や情報提供に努めます。 ○誰もが利用しやすい読書環境の提供に向け、インターネットによる蔵書予約システムや移動図書館等のサービスを提供します。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民、市内通勤・通学者		意図(どういう状態にしたい): 多様化するニーズに対して的確に応え、利用者の満足度を向上させる。	事業の内容 (手段)	多様化するニーズに応えるべく、新鮮かつ広範囲にわたる資料を収集する。	

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	26年度末蔵書冊数 中央 図書335,551冊 AV1,768点 逐次刊行物78種 新南陽 図書94,608冊 AV3,423点 逐次刊行物50種 福川 図書18,372冊 AV1,129点 逐次刊行物23種 熊毛 図書92,840冊 AV3,951点 逐次刊行物63種 鹿野 図書54,571冊 AV2,506点 逐次刊行物45種						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	直接事業費	千円	35,342	34,018	34,518	35,313		33,518						
事業目標	目標名	図書購入冊数	計算式	単位	冊	事業費	(予算額) うち一財	千円	34,839	33,452	33,452	34,237	33,452	
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度	直接事業費	千円	35,305	33,842		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値	20,000	19,000	19,000	19,000		19,000	(決算額) うち一財	千円	35,032	33,250			
	実績値	18,626	23,236	19,862				正職員人件費	千円	10,255	9,983			
	達成度(%)	93.1%	122.3%	104.5%				人工数	人	1.40	1.35	1.15		
								支出コスト	千円	決) 45,560	決見) 43,825			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	図書館資料の選択・収集 (ソフト事業)	周南市民、市内通勤・通学者	資料の収集	一般向け・児童向けコーナーの充実を図る	資料の選択・受入	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							1.1	3.05	33,842	否	可			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 市民ニーズの拡大・多様化資料について熟知した人材(スペシャリスト)の育成					A	改善案						
	②	郷土資料の選択・収集 (ソフト事業)	周南市民、市内通勤・通学者	郷土資料の収集	資料の充実を図るとともに、高度なレファレンスにも対応できるようにする	資料の選択・受入						否	可	
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 郷土資料についての綿密な情報収集の必要性資料について熟知した人材(スペシャリスト)の育成					B	改善案	長期的展望に立った人材育成						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否	
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
	③												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						
	④												
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他			細事業評価							
							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	図書以外の資料(AV、電子書籍)の刊行、要望の増加	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
		細事業の課題・問題点	資料について熟知した人材(スペシャリスト)の育成が必要である。	事業全体の課題・問題点

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	改善案
			限りある予算の中で、効率的かつ効果的に執行していく。	長期的、継続的な展望で、資料について熟知した人材を育成していく必要がある。

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	図書館にとって図書館資料収集は重要な事業であるので、その収集方針の公表に努められたい。

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200104
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
限りある予算の中で、多くの利用者のニーズに応えるべく資料の充実を図る。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	松村 悟
事務事業コード	134016	事務事業名	熊毛図書館資料等拡充事業	事業の分類	(ソフト事業)
				補助・単独の別	単独
				会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)図書館の資料・情報及びサービスの充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○利用者の多様なニーズに対応した資料・情報の充実を図ります。 ○歴史や文化等に関する地域資料の収集保存や情報提供に努めます。 ○誰もが利用しやすい読書環境の提供に向け、インターネットによる蔵書予約システムや移動図書館等のサービスを提供します。			25年度市民評価の満足度	【生涯学習の推進】 41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民(熊毛地区)、市内通勤・通学者	意図(どういう状態にしたい): 子供たちの健全な育成の一助となるべく、児童図書やボランティア活動用物品の充実を図ります。	事業の内容 (手段)	ふるさと周南応援寄附金を活用し、資料等を充実させます。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績 【26年度】	ボランティア用物品、図書資料等購入						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
								直接事業費	千円	3,000	3,831			
事業目標	目標名	計算式	単位			事業費	(予算額) うち一財	千円	0	1				
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度		28年度	直接事業費	千円	3,000	3,831		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	目標値							(決算額) うち一財	千円	0	1			
	実績値							正職員人件費	千円	0	0			
	達成度(%)							人工数	人					
								支出コスト	千円	決) 3,000	決見) 3,831			
事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①		資料、ボランティア物品等の選択・収集 (ソフト事業)	周南市民(熊毛地区)、市内通勤・通学者	資料等の収集 (ソフト事業)	児童図書やボランティア活動用物品の充実	資料等の選択・受入		正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託	
									3,831			否	可	
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価							
							改善案							
②														
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				細事業評価								
						改善案								

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度		人工数		コスト		委託等の可否		
								正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時		
	③													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						
	④													
	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価								
	細事業の課題							改善案						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	前年度までの指摘事項	指摘事項に対する改善状況
	細事業の課題・問題点		事業全体の課題・問題点

所管課評価						
評価	D	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	26年度にて事業完了	改善案	

評価責任者(所管部長)評価・コメント	
評価	D 26年度にて事業完了

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け	
施策体系コード	200104
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)

備考

平成27年度 周南市事務事業評価シート

担当部・課名				教育部 中央図書館		評価者(課長)		広崎 博之		評価責任者(部長)		松村 悟	
事務事業コード		134026		事務事業名		移動図書館運営事業		事業の分類		(ソフト事業)		補助・単独の別	
								単独		会計名		01一般会計	

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化		節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む		実施計画	×		
	基本施策	I 22 生涯学習の推進		基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。		20年度市民評価の満足度			
	推進施策	(4)図書館の資料・情報及びサービスの充実					【生涯学習の推進】 32.30%			
	推進施策の展開	○利用者の多様なニーズに対応した資料・情報の充実を図ります。 ○歴史や文化等に関する地域資料の収集保存や情報提供に努めます。 ○誰もが利用しやすい読書環境の提供に向け、インターネットによる蔵書予約システムや移動図書館等のサービスを提供します。					25年度市民評価の満足度			
事業の目的(対象、意図)		対象(誰を・何を): 図書館から遠隔地に居住する周南市民		意図(どういう状態にしたい): 図書館サービスの地域間格差の是正・均等化		事業の内容(手段)		移動図書館車による地域への巡回学校(小規模校)への乗り入れ やまびこ号 平成22年7月更新 やまびこ号ジュニア 平成7年5月導入		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績【26年度】		やまびこ号 38ステーション 165日巡回 やまびこ号ジュニア 2ステーション 12日巡回(大津島地区) なかよし号 26年6月廃止				事業費		項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)							
								直接事業費	千円	3,751	3,933	5,708	5,840	5,708							
								(予算額) うち一財	千円	3,751	3,933	5,708	5,840	5,708							
事業目標	目標名	個人利用者数		計算式			単位	人													
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度															
	目標値				4,800	4,800															
	実績値	5,467	5,190	4,892																	
	達成度(%)																				
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名		事務対象		事務業務目的		事務業務目標		H26実施内容、効果・達成度			人工数		コスト		委託等の可否					
	事業の分類											正職員		臨時等		直接事業費		委託		臨時嘱託	
	①	移動図書館車の運転整備 (経常的事務事業)	地域住民		移動図書館車の安全な運行		図書館サービスの地域間格差の解消 地域での読書活動の推進		移動図書館車の運転・整備			0.85	0.2	3,346	否	可					
	細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input checked="" type="checkbox"/> その他 移動図書館車の安全な運行に万全を期する必要がある。									A		改善案							
	②	やまびこ号 (ソフト事業)	地域住民		移動図書館車の安全な運行		図書館サービスの地域間格差の解消 地域での読書活動の推進		移動図書館車での巡回サービス なかよし号廃止に伴い、巡回コースを大幅に統合、再編した			0.55	0.65	243	否	可					
細事業の課題		<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 利用者は減少傾向にあるが、新たな巡回希望もある。									B		改善案		巡回コースの検討						

事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト 直接事業費	委託等の可否	
	③	やまびこ号ジュニア (ソフト事業)					地域住民(大津島地区)	移動図書館車の安全な運行		図書館サービスの地域間格差の解消 地域での読書活動の推進	移動図書館車での巡回サービス
	③	やまびこ号ジュニア (ソフト事業)	地域住民(大津島地区)	移動図書館車の安全な運行	図書館サービスの地域間格差の解消 地域での読書活動の推進	移動図書館車での巡回サービス	0.15	0.05	193	否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 25年に一部ステーションを廃止したこともあり、利用者が減少している。 大津島は月1回の巡回であるため、車両そのものを運行していない時間が多い。				B	改善案	巡回以外にも使用するなど、車両をより有効に使用する。			
	④	なかよし号 (ソフト事業)	地域住民(新南陽地区)	移動図書館車の安全な運行	図書館サービスの地域間格差の解消 地域での読書活動の推進	移動図書館車での巡回サービス 26年6月をもって廃止した	0.05			否	可
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他				D	改善案	平成26年6月にて車両廃止			

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	車両を減らしたために、1台で広域を巡回しなければならなくなり、ステーション数や滞在時間が減った。 モータリゼーションの発達により、遠隔地からも、また遠隔館へ直接出向く人が増え、利用者自体減少傾向にある。	前年度までの指摘事項	なかよし号の必要性の検討	指摘事項に対する改善状況	平成26年6月でなかよし号を廃止
	細事業の課題・問題点	利用者の減少	事業全体の課題・問題点	利用者は減少傾向にあるが、新たな巡回要望もある。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	図書館サービスの地域間格差の解消には必要であるが、効果的な巡回を行うために、コースの検討を行わなければならない。	改善案	巡回サービスを行いつつ、地域の実情等を勘案しながら、コースを検討する。
----	---	--	------	--	-----	-------------------------------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	移動図書館のサービスを本当に必要としている人はだれかを再度考える必要がある。
----	---	--

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200104
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
地域の実情や要望と、効果的効率的な運行とのバランスを考えながら事業を行う。

備考

--

平成27年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード	134029	事務事業名	図書館システム管理運営事業	担当部・課名	教育部 中央図書館	評価者 (課長)	広崎 博之	評価責任者 (部長)	松村 悟
				事業の分類	(経常的事務事業)	補助・単独の別	単独	会計名	01一般会計

【事業概要】 Plan

まちづくり総合計画・後期基本計画における位置づけ	分野	I 教育・文化	節(まちの姿)	I 2 豊かな心と体を育む	実施計画	×
	基本施策	I 22 生涯学習の推進	基本方向	市民の自主的、継続的な学習活動を支援するとともに、学んだ成果をまちづくりに生かすための生涯学習環境の整備・充実に取り組みます。	20年度市民評価の満足度	
	推進施策	(4)図書館の資料・情報及びサービスの充実			【生涯学習の推進】	32.30%
	推進施策の展開	○利用者の多様なニーズに対応した資料・情報の充実を図ります。 ○歴史や文化等に関する地域資料の収集保存や情報提供に努めます。 ○誰もが利用しやすい読書環境の提供に向け、インターネットによる蔵書予約システムや移動図書館等のサービスを提供します。			25年度市民評価の満足度	
					【生涯学習の推進】	41.00%
事業の目的 (対象、意図)	対象(誰を・何を): 周南市民、市内通勤・通学者	意図(どういう状態にしたい): 資料・利用者の迅速・正確な管理、サービスの向上	事業の内容 (手段)	図書館システムの活用により、市立図書館全館の資料管理、利用者管理、資料貸出・返却事務等を迅速かつ正確に処理し、さらにインターネットの活用により利用者への情報提供や、資料検索・予約等が館内外を問わず24時間可能となる。		

【実施内容】 Do(細事業はDoとCheckを行います。各小事業や細事業の検証にあたっては、別添の検証シートを活用)

事業の実績	平成17年1月システム統合 平成25年2月システム更新						事業費	項目	単位	25年度	26年度	27年度(予算)	28年度(見込)	29年度(見込)
	【26年度】								直接事業費	千円	12,775	12,850	13,208	13,117
								(予算額) うち一財	千円	12,775	12,850	13,208	13,117	12,850
事業目標	目標名	予約・リクエスト数	計算式	単位	件		事業費	直接事業費	千円	12,748	12,849		対27年度増減理由	対28年度増減理由
	年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度		(決算額) うち一財	千円	12,748	12,849			
	目標値	99,900	99,950	100,000	100,000	100,000		正職員人件費	千円	6,959	6,286			
	実績値	102,340	103,353	96,203				人工数	人	0.95	0.85	0.80		
	達成度(%)	102.4%	103.4%	96.2%				支出コスト	千円	決) 19,707	決見) 19,135			
事業を構成する細事業【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否			
	①	システム管理全般 (経常的事務事業)	周南市民、市内通勤・通学者	資料及び利用者の迅速かつ正確な管理	業務の効率化、利用者の満足度向上	システムによる資料及び利用者管理	正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時嘱託			
							0.85	1	12,849	否	否			
	細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他 システムの導入により、利用者の利便性が向上した反面、それに伴う人的作業がかえって増えてしまった。					B	改善案	業務の効率化、利用者の利便向上に資するICシステムの導入の検討。					
	②													
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他						改善案	細事業評価						

事業を構成する細事業 【26年度実績】	細事業名 事業の分類		事務対象	事務業務目的	事務業務目標	H26実施内容、効果・達成度	人工数		コスト		委託等の可否	
	③						正職員	臨時等	直接事業費	委託	臨時	
			細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価			
④												
細事業の課題	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> コスト <input type="checkbox"/> その他					細事業評価						

【評価】 Check

課題・問題等	事業開始からの環境変化	システムの活用は、図書館運営に欠くことができないものとなっている。また、さらなる業務の効率化、利用者の利便向上が期待できるICシステムの普及も進み始めた。	前年度までの指摘事項	ICタグ等を活用した図書館システムを電子図書の貸し出しも含めて導入に向けて検討すべきである。その際、システムで一人当たりの貸し出し数や利用人口等のデータなどを詳細に把握しランニングコスト等の費用とあわせて検証することが必要である。	指摘事項に対する改善状況	ICシステムについては引き続き検討する。利用に関するデータは、システム導入のみならず、図書館運営に関する検証の一助とすべく、より詳細に算出する。
	細事業の課題・問題点	利用者の利便向上については大いに資しているが、その対応のため、本来であれば省力化が期待できるところであるが、かえって事務量が增大してしまう側面がある。	事業全体の課題・問題点	図書館業務に必要な不可欠であるが、必要な定期的なリプレイスや、ICシステムの導入に対するコストがかかる。		

所管課評価

評価	B	A 計画どおりに事業を進めた B 実施方法やコスト等の見直しが必要 C 事業統合や外部委託等による大幅な見直しが必要 D 休止・廃止の検討	評価理由	図書館システムは運営上なくてはならないものである。そのうえで、さらなる利用者の利便性の向上、業務の効率化に資するICシステムを導入したい。	改善案	ICシステムの検討、導入
----	---	--	------	---	-----	--------------

評価責任者(所管部長)評価・コメント

評価	B	ICシステムについて、その導入の必要性を説明し、効果を事前評価するためには、図書館の基本的運営方針を明示し、現状と目標とすべきサービス水準を比較する取り組みが必要である。
----	---	---

第2次周南市まちづくり総合計画・前期基本計画における位置付け

施策体系コード	200104
分野	2生涯学習・人権
基本施策	1生涯学習の推進
推進施策	(4)図書館の資料・情報・サービスの充実

【改善】 Action

平成28年度当初予算等での改善結果(平成28年度当初予算への反映など)
ICタグシステムの導入については、費用対効果の観点から早期導入は見送ることとし、今後の動向を注視していく。

備考

備考
